

令和4年度 第1回青年部活動報告書(令和4年.4.1～令和4年.6.30)

全青会理事提出日 第1回 令和4年 6月 25日

県名: 東北BC(福島県)
 報告日: 令和4年6月23日
 報告者: 靄田安一

1. 都道府県青年部の活動報告

都道府県名	年月日	活動報告
青森県	5月27日	親睦ゴルフ 11名参加(抗原検査実施) 第31回青森県鉄工連青年部通常総会 13名参加(抗原検査実施)
岩手県	4月19日 5月25日	令和4年度第1回役員会 令和4年度通常総会
宮城県	5月13日 6月7日	役員会 令和4年度 通常総会(書面決議)
秋田県	5月20日 5月23日～31日	役員会 書面による総会
山形県	6月7日	青年部総会開催
福島県	4月14日 5月20日	第1回役員会 第32階通常総会(会員18名出席、懇親会から賛助会16名出席)

2. ブロックの活動報告

年月日	内容
山形県 4月15日	山形構造設計研究会 例会にて鉄骨の市況について情報交換
東北BC 6月8日	令和4年度 通常総会・第1回役員会(仙台:ノースピアビル)

3. 構造設計者との交流活動の状況報告(各府県で実績があれば記入願います。)

年月日	内容
6月18日	鉄骨建物の設計施工問題意見交換会(JSCA)

4. その他(近況報告・市況等)

府県名	内容
青森県	稼働率100(%) 工場平均稼働率と手持工事量は前月に引続き横ばい。地場の小型物件が動き出し、前月よりは微増傾向にあるものの、グレードにより各社の仕事量にバラツキがある。深刻な鋼材価格も今後しばらくは上昇傾向とみられ、実際物件契約後、材料発注時にはまた値上がりしていることも多く、交渉に苦慮している工場が増加。結局、予算が合わずに、工程の見直しや設計変更・中止に至るケースも増えている模様。さらに鋼材・運送費が高騰してきており、受注価格への影響・原価管理等、課題は山積みである。このような厳しい状況だからこそ、これからも、組合員同士、より一層こまめな情報交換が必要である。
岩手県	青年部会員の年齢層が上がってきていることを踏まえ、役員会において若い会員の加入促進を積極的に行うことを確認した。手始めに親組合所属の青年部未加入企業へ加入について案内をしたところ、早速2名の新規入会があった。

4. その他(近況報告・市況等)

府県名	内 容
宮城県	<p>S・Hグレードの山積みは、約5～10ヶ月、Mグレードは、約1～3ヶ月。 R・Jグレードは、約1～2か月ではあるが、稼働率についてはグレード問わず100%強。 各社 凶面の遅れや鋼材納期の長期化により、山積みの調整に苦慮している。 またネゴ中および製作中に値上がりした鋼材費の追加を貰うために、どうしたらいいのか模索中。</p>
秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ● 稼働率 90～110% ● 山積み 2～7ヶ月 <p>稼働率のバラつきもある程度解消し、各社稼働率が上がってきている。 鋼材その他値上げが続く中、元請けとの値段交渉に苦労している。</p>
山形県	<p>共通事項として、 全般的な材料入手難が慢性的になっている。SN材も10月ロール以降の受付状況 鋼材値上がりも同様で受注価格に転移するにも値動きが早く、受注後の交渉は難しくなっている。 稼働率は鋼構造物業で概ね100%、建設金物等を主とする鉄工所では80%前後となっている。</p> <p>Hグレード R4年度の山積みに空きは無い状況。R5年年末の案件についての話もある。</p> <p>Mグレード どのファブも100%で推移している状況 受注物件は年内一杯～一部令和5年6月までと幅はあるが、どのファブも受注見込みがあり 見通しは暗くはない。</p> <p>Rグレード 山積み2～4ヶ月程度、Mグレード同様受注見込みもある為見通しは暗くはない。</p>
福島県	<p>工場平均稼働率は約90%でRグレードの稼働率が低い傾向がある M・Hは100を超えているところが多いよう 山積みは1～12ヶ月と幅広いが平均で約5ヶ月程度 受注価格は経費の値上がりからかやや不足のよう 一部ではニュースになるほど鋼材の遅れがあるようだが、7割は普通に入手できている</p>